

小室小学校

農業体験教室

参加者の声



10月21日、小室小学校の5年生が農業体験教室として、稲刈りを行いました。去る6月に児童たちが一生懸命田植えをした稲とあって、収穫を楽しみにしていたようです。
伊奈町農業経営者連絡協議会の方々による熱心な指導を受けながら、児童たちはかまを上手に使いこなしていました。



栗原 未由 来さん
くりはら みゆ きさん

農作業をやっている人は、1回ざくつといい音がしたらすぐに切れていて、すごかったです。けど、実際にやってみたら何回やってもなかなか切れなくてすごく大変でした。けれどもだんだんコツをつかんで、いっぱい切れるようになっていました。

稲刈りはすごくきょうな体験になったのでよかったです。



ながさき よしなり 純音さん
ながさき よしなり 純音さん

最初がかまがこわくて、あまり力を入れられなくて気が



さかもと きょう子 京子さん
さかもと きょう子 京子さん

つけてやりました。だから初めのうちは、あまり切れなかったけど、少しずつ切れるようになってきました。となりを見たら、同じくらい切れていたの、負けないぞと思ってどんどんやりました。また見てみたら、ぼくの方がたくさん刈ることができたので、とてもうれしかったです。また秋の虫もたくさんいて、いろいろな経験ができました。

稲刈りをして思ったことは、稲はみんな同じ方向を向いているということです。思ったときは、すごいなあと思いました。稲刈りは、思ったよりすごく大変でつかれてしまったけれど、昔の人はなんでも手作業なので、すごいなあと思いました。最初はうま



おの とも 勸さん
おの とも 勸さん

く切れなかったけれど、やっているうちにだんだん慣れてきて、スムーズにできるようになりました。とてもうれしかったです。

ぼくたち5年生全員で植えた稲の苗が育ち、米のできる部分がみんなたれさがつきました。友達とぼくは、すごい早さで、いっぱい稲をかまで切っていました。大人の人たちに「切るのが早いね」といわれました。ちよつとうれしかったです。友達とぼくで刈り進んでいったら、稲のトンネルのようになりました。稲刈りが終わったら、手や足などが泥だらけでした。とてもつかれたけど、とてもたのしかったです。



けいた 奎太さん
つちと 樋土

農家の人に稲の刈り方を教えてもらったときは、簡単そうに見えましたが、実際にやってみたら、なかなか稲が切れませんでした。以前は、今まで刈っていたと思うと、農家の人はすごいと思います。ぼくたちのために、稲刈りの機会を与えてくれた農家の人たちが先生たちに感謝したいと思います。そしてご飯を食べるときにありがとうございます。思ってたよりも思っています。



しば 柴
やよいさん

私は今日、初めて稲刈り体験をしました。今まで稲刈りをするの聞いたら、かまですや指を切ったらどうしよう...と思ったので、こわかったです。かまを持って稲を刈り始めたときは、1回で切れませんでした。それで、そばにいた農家の人に教えてもらおうと、それから1回で切れるようになりました。ずっとやっている、だんだん楽しく

なっていてきました。お米として食べるのが、とても楽しみです。



なみ き 双木まどかさん

初めは「稲刈りなんていやだなあ」と思いながらも、農家の人の話のとおりやってみると、「ザクツ」と、とてもいい音がしました。稲はきれいに切れていました。私はあまりのうれしさに、何回も何回も稲を刈っていると、あつという間に終わっていました。「もっとやりたい」という気持ちが強かったのが、大きな声で「ありがとうございます」



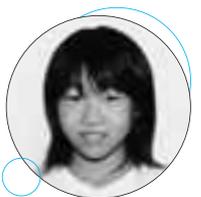
ました」と言ってしまうしました。すると農家の人たちは、みんなにこにこ顔でした。思いうかができてうれしいです。



たかはし 橋高
ゆう き 勇樹さん

初めて稲刈りをして楽しかったです。かまですを切りそうでこわかったので、最初は時間がかかってしまいました。でも、だんだん慣れてきて、早くできるようにになりました。なれてくると楽に切れました。

昔はずーっとこれをやっていたので、暑い日は大変だったんだなあ、つかれないのかなあと思いました。今は機械が発明されてよかったです。思いました。



たちばな 花立
なな み 海さん

稲刈りを始めて、最初のほうは楽しくできたけど、だんだん稲がなくなってきたら、クモとかカエルとかイナゴがでてきてイヤでした。稲刈りをして見つけたのは、ピンクのクモです。稲は「細い」の



「太い」のがあるのが分かりました。やさしく教えてくれた農家の方々、ありがとうございます。



いちかわ 市川
はるか 香春さん

私は5年生になって初めて稲刈りをしました。最初、友達が見ているのを見て、簡単そうに見えたけど、自分でやってみると、根元がたたく、こしが痛くなりました。でも、ふだんご飯を当たり前のようになら食べているのは、農家の人たちが一生けん命作ってくれているから食べられるのだと思います。だから私は、農家の人の気持ちを思って食べていきたいです。



やまぎし 山岸
こうへい 康平さん

10月21日に稲刈りをして、最初はこつをつかめなくて、ノコギリみたいにやっていたけれども、最後には1発でできました。おじいちゃんの家で、米を作っているけど、一度もやったことがなかったの、できてよかったです。ぼくたちは「田植え」、「稲刈り」をして、他は農家の人がやってくれたので感謝したいです。



じゅん 藤純さん
さい 齋

6月に田植えをした場所で育っていた稲を刈りました。稲刈りのときは、のこぎりがまというかまを使いました。最初は何回もやって1たばしかとれなかつたけれど、やっているうちに慣れて、1回でとれるようになりました。左手で稲を上上げるようにしてしっかりと持ち、右手でかまを強く引くと切りやすかったです。今度この稲を赤飯にして食べるのが楽しみです。